

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

岩国市立麻里布小学校

学習指導の工夫

子どもの思いや願いを生かした学習活動を構成し、学びを豊かにする。

具体的な取組の内容(1)



説明に必要な内容を、付箋の項目に沿って、まとめていく児童

紹介したい「乗り物」を選択し、「役目」「つくりやできること」「すごいこと」等を見つけ、付箋を貼る児童



順序立てて話せるように、作成した「のりものポケット」を使って、聞き役の児童に発表する児童

伝えたいことがよくわかった項目にシールを貼る児童



成果

児童が自分の思いをもち、的確に伝えられるよう、学習カード等にまとめる活動を行った。教員の関わりや児童同士の交流機会を適宜設けながら授業を進めた。その結果、児童が自信をもって自分の思いを書いたり、話したりすることができた。また、友達との交流を通して、見方を広げ、考えを深めることができた。

具体的な取組の内容(2)



ゲームを通して、国語科の拗音の表現について楽しく学ぶ児童

自分の考えたジャンケンを、ジェスチャーを交えて伸び伸びと発表する児童と、その真似をしながら聞く児童



操作活動を通して、算数科の加減法について主体的に学ぶ児童

個別に指導する時間の確保



成果

帰りの会の時間等に全体の場で発表する機会を設けることで、自分の思いを表出しやすい雰囲気をつくることができた。

授業では、ペア学習や小集団での学びの場を適宜設け、体験的な学習や操作活動によって、意欲の向上を図ることができた。そのため、積極的に仲間と関わり、自ら学習に取り組もうとする主体的な学習につながっていった。